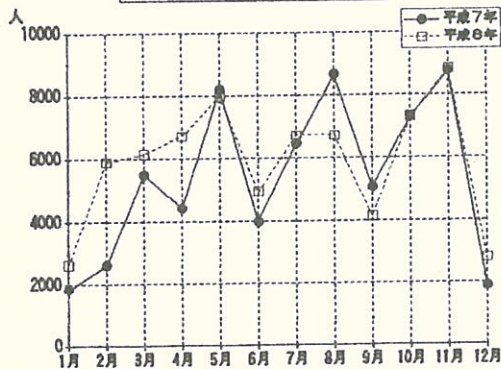


ヤクスギランド入場者数



左の表は、ヤクスギランドの平成七年と八年の入場者を月別に比較したものです。この比較から次のことが分かります。

- ◇年間入場者が増加(九%)
- ◇八・九月で二八七三人減少(台風(一一・二一)号)の影響大。
- ◇冬期(一二～四月)に絶対数は少ないものの、高い増加率(一・一～二・三倍)で夏の減少をカバー。
- ◇五月及び夏期に負けず、秋(一〇・一一)にも入場者が多い。

平成八年ランド入場者数 七〇七四八八人、前年比九%増加

平成七年と八年のヤクスギランド入場者数を比較した結果、九%の増加が見られました。自然休養林としての施設整備が進んだことが、入場者の増加と通年化につながっていると思われる。

インターネットで 熊本営林局が見えてくる

熊本営林局では、市民に親しまれる国有林として、インターネット上に「熊本営林局ホームページ」を開きました。

主な内容は、当局の業務内容をはじめ、森林の機能及び管内での各種イベント等について、写真や図面を使って国有林野事業をわかりやすく紹介しています。

また、「緑のオーナー」では、分収育林募集箇所の資料請求等を電子メールで行うことも出来ます。アドレスは、<http://www.infobears.or.jp/rinku>です。ぜひ御利用下さい。

これらは、ランドが木道・吊り橋等の自然休養林としての施設整備が進み、屋久島の代表的な自然探勝地として定着したことにより、入場者の年々の増加と通年化につながっているものと思われます。

入場者の把握は、平成五年開始の森林環境整備推進協力金実施業務から始めています。屋久島への観光入場者数を把握する指標として、重要だとの評価が定着しつつあることなどから、今後も継続してモニターしていく予定です。

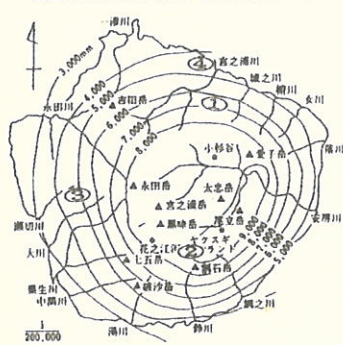
白谷観測点で年間 雨量6831mmを観測



貴重な森林の保全と山地災害防止のため、現在七箇所で雨量の観測を行っています。平成八年当初から観測を行っている四箇所で、年間雨量データ(白谷観測点以外は短期間の欠測あり)を得る事が出来ましたので掲載します。

- ①白谷観測点 六八三二mm (標高 五六〇m)
- ②淀川観測点 七八七九mm (標高 一三八〇m)
- ③大川観測点 三七一〇mm (標高 一〇二〇m)
- ④保全センター観測点 三五二三mm (標高 二〇m)

雨量分布の目安(図)と観測点の位置



この観測結果から、低地で四〇〇〇mm程度、標高が高い山岳部においては八〇〇〇～一〇〇〇〇mmとされている。これまでの屋久島の降雨傾向とほぼ一致する事がわかります(図参照、図は「世界遺産屋久島」から転載)。

屋久島の植物



フカノキ(うごぎ科)

大隅半島以南に分布する亜熱帯性常緑高木であり、屋久島では海岸近くの森林に多く見られる。保全センターの設置している西部林道沿いの植生調査プロット内においてもモクダチバナに次いで本数が多い。

葉は掌状複葉で、図のように七～十枚の輪生した小葉からなる。

晩秋から冬にかけて枝の先に散形花序を伸ばし、葉の濃緑と花序の淡緑白色のコントラストが面白い。

七年度年報が完成

このほど、平成七年度屋久島森林環境保全センター年報が完成しました。

この年報は、保全センターが設置されて最初の一年間の活動報告で、保全センターの一年間の動きがわかりやすく説明されており、島内及び島外の関係機関や希望者等に配布する予定です。